

参考7 用語集

用語	解説
コンパクト+ネットワーク	<p>「国土形成計画（全国計画）」（平成 27 年 8 月 14 日閣議決定）において位置づけられた人口減少社会に取り組む国土計画の考え方である。原文では、「対流」こそが日本の活力の源泉。「対流促進型国土」の形成を実現するための国土構造、地域構造として「コンパクト+ネットワーク」の形成を進めていく。」と示されている。</p> <p>ここで「対流」とは、多様な個性を持つ様々な地域が相互に連携して生じる地域間のヒト、モノ、カネ、情報の双方向の活発な動き、「コンパクト」とは、空間的な密度を高める「まとめ」、ネットワークとは、地域と地域の「つながり」を意味する。（国土交通白書 2015）</p>
デマンド交通	<p>デマンド型交通は、正式には DRT (Demand Responsive Transport: 需要応答型交通システム) と呼ばれ、路線バスとタクシーの中間的な位置にある交通機関のことである。</p> <p>事前予約により運行するという特徴があり、運行方式や運行ダイヤ、さらには発着地 (OD) の自由度の組み合わせにより、多様な運行形態が存在する。</p> <p>平成 18 年の道路運送法の改正により、デマンド型交通も道路運送法に基づく乗合事業に位置づけられ、地域公共交通会議で協議が調うことが運行許可の条件となっている。</p>
OD調査	<p>O は起点 (origin)、D は終点 (destination) を表し、別名「自動車 OD 調査」または「自動車起終点調査」と呼ばれる。</p> <p>一般に、登録自動車のうちからサンプルを抽出し、ある一日の自動車の動きについて調査票に記入、調査するものである。調査項目は、出発地、目的地、運行目的、積載品目、運行時刻等で、これらを集計解析することにより、自動車の地域間流動、運行目的、時間分布等を把握することができる。</p> <p>全国規模のものとしては、国土交通省が中心となり、最近では国勢調査の調査年に合わせ、「道路交通センサス（全国道路交通情勢調査）」として 3 年に 1 度実施されている。</p>
PT調査 (パーソントリップ調査)	<p>都市の総合交通体系の実態把握の一環として、人の動きに関する調査が実施されるが、これがパーソン・トリップ調査（単に PT 調査ともいう）である。</p> <p>都市における膨大なパーソン・トリップの実態把握を行って、土地利用のあり方や、公共交通機関の整備と運営、都市内道路網計画、交通拠点計画、地区交通計画などの検討の基礎資料としている。</p>
オーナーインタビュー調査	<p>交通調査実施法の一つで、自動車の所有者または使用者を訪問し、車の運行状況やトリップ内容について聞き取り調査を行う場合をオーナー・インタビュー調査という。全国道路・街路交通情勢調査では、OD 調査として路側調査とともにオーナー・インタビュー調査が活用されている。</p>
コーホート法	<p>共通した因子を持つ集団であるコーホート (cohort) を用いて、将来の人口予測を計算する方法のこと。</p> <p>コーホートを分析し、時系列の変化を軸に人口の変化を捉え、そこから得られる性別・年齢別生存率、性別・年齢別移動率、母親の年齢階級別出生率、出生者の男女比などを推計する。</p>

用語	解説
LRT	<p>LRTとは、LightRailTransitの略で、低床式車両(LRV)の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代の軌道系交通システムのことである。近年、道路交通を補完し、人と環境に優しい公共交通として再評価されている。</p> <p>栃木県では宇都宮市内で事業化がされており、JR宇都宮駅東口～(清原工業団地)～芳賀町の本田技研北門までを優先整備区間として、2022年の完成を目指し事業着手している他、JR宇都宮駅西側の整備に向けた検討を行っている。</p>
交通空白地	<p>一般的に鉄道や路線バスが運行されていない地域のことをいう。</p> <p>本ガイドラインでは、鉄道駅から半径500m及びバス停から半径300m圏域外の地区として定義している。</p>



栃木県 県土整備部 交通政策課

〒320-8501

栃木県宇都宮市塙田 1-1-20

TEL 028-623-2447

FAX 028-623-2399

E-Mail kotsu@pref.tochigi.lg.jp

URL <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h03/index.html>
